



15号  
2017年7月三者面談  
西原東中学校進路担当

# 平成29年度県立高等学校入試得点結果

平成29年度（現高校1年生）の一般入試の得点結果ができました。また、その下の表は平成29年度高校入試の4教科（国語以外）の各学年、各分野からの出題数と出題の割合です。高校入試は中1で学習した分野からも出題されていることがわかります。徹底した復習が必要になります。夏休みはその復習ができる最大のチャンスなので、自分の希望する進路実現のために頑張りましょう。

## ☆平成29年度 高校入試各教科平均点☆

	平均	正答率
国語	31.5点	52.5%
社会	31.4点	52.3%
数学	29.4点	49%
理科	32.8点	54.6%
英語	31.0点	51.6%
全受験者5教科合計	156.0点	52%
全合格者5教科合計	161.2点	53.7%



- ◎高校入試は、各教科60点満点、5教科合計300点満点です。
- ◎高校入試は、5教科すべて正答数が60%前後になるよう作られています。
- ◎全受験者の5教科の入試平均点は、156.0点（沖縄県全体）
- ◎平成29年度入試合格者の県内最高点は283点だったそうです。

## ☆平成29年度沖縄県立高等学校入試の学年・分野別の出題数☆

### 【社会】全50問

学年	地理的分野	歴史的分野	公民的分野	総合的分野	全体
出題問題数	13問	12問	12問	13問	50問
配点	15点	15点	15点	15点	60点満点

### 【数学】全44問

学年	小4	中1	中2	中3	全体
出題問題数	1問	11問	17問	15問	44問
全体に対する割合	2.2%	25%	38.6%	34%	100%

### 【理科】全47問

学年	中1	中2	中3	全体
出題問題数	13問	20問	14問	47問
全体に対する割合	38%	36%	26%	100%

### 【英語】全38問

学年	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	全体
出題問題数	7問	6問	16問	9問	38問
配点	11点	9点	19点	21点	60点満点



# 西原東中学校から進学できる高校

通学区とは… [通学区に関する規則 第3条] 高等学校に入学する者は、その保護者の住所に属する学校区に入学しなければならない。

◎全日制課程の普通科以外の学科の学区は全県域とする。  
(県内の中学校ならどこからでも受験できるという意味です。)



◎西原東中学校から受験できる全日制課程の普通科

西原高校・浦添高校・那覇国際高校・首里高校・首里東高校・真和志高校・那覇高校  
小禄高校・那覇西高校・知念高校

※保護者の住所に属する学区内であるかどうかの確認のため住民票謄本を提出します。

◎入試定員の10パーセント以内の範囲で通学区以外からでも受験可能

(例) 100名定員の場合

◎推薦入学…学区内なら普通科では定員の最大20パーセントが推薦で内定し  
→20パーセントの中でさらに最大10パーセントが校区外から入学可能(2名)

◎一般入学…定員の最大10%まで(10名)  
※推薦で2名内定させていればあとは最大8名までが入学可能

※学区内からの入学志望者の数が入学定員の90%に満たない場合は、10%を超えて入学することができる。

◎保護者の住所が入学の日までに所属学区外に移転することが確実である場合は、移転先の住所の属する学区内の高校に進学できる。

◎2次募集では全日制課程の普通科の学区も全県域になる。



## 評定平均値(内申点)について早めの意識を！！

通知表の評定(成績「5」「4」「3」「2」「1」)の1年生～3年生の平均を評定平均値(内申点)といいます。「もっと早い段階で、内申点を意識して勉強すればよかった」と進路決定前に反省する声をよく聞きます。早い段階で意識して、成績向上を意識しつつ自分の進路先を決めましょう。3年生になってから、試験前になってからと思ってもすぐに成績が向上するわけではありません。また、今まで以上に頑張っても、周囲も頑張るのでなかなか思うように伸びないかもしれません。とにかくできることは全部やる！という気持ちで、自分の進路実現のために頑張れることを継続しましょう。

評定平均値(内申点)の例

	国	社	数	理	英	美	技家	体	音
1年生	3	4	2	3	5	3	3	4	3
2年生	4	2	3	3	4	2	3	5	3
3年生	3	4	4	3	3	3	4	5	3

9教科合計30  
9教科合計29  
9教科合計32  
計 91 ÷ 27 = 3.4 ←

9教科×3年分  
↓  
小数第2位四捨五入  
評定平均値

※各学年末の評定がその学年の学年最終評価です。